

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	言語情報科学		
英文授業科目名			
開講年度	2007年度	開講年次	3年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	坂本 真樹、内海 彰		
居室	西6-511(坂本)、西5-703(内海)		

公開E-Mail	授業関連Webページ
坂本 内海	

【主題および達成目標】
人間による言語情報の理解及び産出プロセスについて、 認知科学・計算機科学・言語科学の手法と知見の紹介をします。 特に、あるものを別のもので喩えるという人間の認知活動である メタファーに着目して説明を行います。言語の情報処理の観点か ら広く人間の認知活動に関わる精神活動について考えてもらい たいと思います。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
なし。 適宜資料を配布します。

【授業内容とその進め方】

- 1回目：ガイダンス（内海・坂本）
- 2回目：認知科学と言語科学における認知言語学の位置づけ（坂本）
- 3回目：言語表現の産出に関わる認知プロセス（坂本）
- 4回目：言語知識に関わる認知現象（プロトタイプ，スキーマ，メタファーなど）（坂本）
- 5回目：認知科学における計算モデル研究の位置づけ（内海）
- 6回目：言語理解の認知計算モデル
（記号処理モデル，コネクショニストモデル，意味空間モデル）（内海）
- 7回目：言語理解の認知研究の広がり：認知語用論（内海）
- 8回目：メタファー研究における認知言語学の位置づけ：概念メタファー（坂本）
- 9回目：共感覚メタファー（1）（坂本）
- 10回目：共感覚メタファー（2）（坂本）
- 11回目：メタファーの認知モデル（内海）
- 12回目：メタファーの計算モデル（1）（内海）
- 13回目：メタファーの計算モデル（2）（内海）
- 14回目：全体ディスカッション（内海・坂本）

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：レポートおよび授業参加度を、次のように総合評価する。
成績評価 = (授業参加度評価点 × 30%) + (レポートの評価点 × 70%)
評価基準：
授業内容を理解している C
適切かつ十分な量の言語データを収集できている B
授業内容に基づく理論上の仮説を実証する実験などを行っている A
実験結果について授業内容の適切な理解に基づきかつ独創的な考察を行っている S

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、電子メールや電話などで事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

言葉に興味のある学生、人間の言語活動や認知活動に興味のある学生、計算機モデルに興味のある学生は是非受講してください。二つの異なる学科に所属しながら共同研究を行っている教員による実践的授業です。

【その他】